

# 夏季ゼミナール

R5/7/31Mon

この秋 11 月 16・17 日にいよいよ全小理大会を横浜／川崎を中心にオール神奈川で行います。当日の前に神奈川大会の全貌に触れる機会を設けました。会場校、県内の研究発表を、当日には不可能な一力所で一日で研修できます。全小理に向けてオール神奈川で学び、11 月を迎えましょう。  
令和 5 年 7 月 全小理神奈川大会実行委員会

時刻	内容	詳細	会場
9:00	午前開会	実行委員長挨拶他	横浜市立 立野小学校 (会場校) 山手駅 2 分
9:15	研究発表①	全小理横浜 4 部会提案	
10:05	研究発表②	全小理川崎 2 部会・県下 2 部会提案	
10:50	研究発表③	会場校実践紹介・横浜&川崎研究会報告ほか	
11:45	午前閉会	事務連絡	
<b>移動 2 駅 (関内駅周辺等で昼食をお取りください)</b>			
13:20	午後開会	教育委員会挨拶他	関東学院大 学(関内キャンパス) テンネー記念ホール 関内駅 3 分
13:30	講演	有本淳教科調査官講演	
14:40	シンポジウム	会場校 3 校の研究と実践	
16:05	オール神奈川	講師激励、各発表者のコメント	
16:30	全体講評	川上真哉学力調査官の講評	
16:40	午後閉会	全小理事務局挨拶他	

自然に親しみ、共に豊かな学びを創り続ける子どもの育成  
～問題を見だし、つなげ、理科を学ぶ意義を考える、令和時代の問題解決～

神奈川大会は、今回で5回目を迎えます。その都度、問題解決のあるべき姿を考え提案してきました。会場となる横浜・川崎の研究会、会場校に加え、神小理、CST など県下の理科のネットワークで神奈川の理科が大切にしていることが「問題解決」であることを確認し、会場校三校の目指す「問題を見だし」「つながり」「理科を学ぶ意義を考える」を大切に、現学習指導要領や理科の見方・考え方が浸透し、GIGA 端末が普及し、多様性が求められる令和時代における、学びの意義や教師の役割を考える令和時代の問題解決を考え、実践し、授業公開や研究発表で問いかけていきます。

目と耳とメ  
問題を見だし  
つなげ  
理科を学ぶ意義を考える  
浸る

**令和時代の問題解決**

見方・考え方 観察・実験など 問題を見だし  
学習指導要領(現・次期) 多様性 学びの集団  
GIGA端末 記録 共有 教師のコーディネート

\*\*\*\*\*

小学校理科研修「夏季ゼミナール」(横浜市教育委員会・横浜市小学校理科研究会共催)

■令和 5 年 7 月 3 1 日(月) AM:横浜市立立野小学校/PM:関東学院大学テンネー記念ホール

■申込み 横浜市立学校教員 Leaf にて御願います。

横浜市外の方 2 次元コードより Google フォームにて申込みください。

※11 月の全小理等の情報は、HP をご覧ください。「全小理 神奈川」で検索!

